GAOT
Gunma Association of Occupational Therapists

一般社団法人

群馬県作業療法士会ニュース

からっ風通信

第164号
2026年4月発行

Contents

- 巻頭言 …… 2
- 特集記事 …… 3〜5
  - 新任理事紹介
  - 地域とつながるということ〜渋川つながるフェスティバルに参加してきました〜
  - 認知症支援推進グループより
- 議事録 …… 6〜13
- 施設紹介：学校法人未来学園 前橋医療福祉専門学校 …… 14
- 2025年群馬県作業療法学会 優秀演題賞表彰 …… 15
- 編集後記 …… 16

巻頭言

学会長　吉岡 和哉
群馬パース大学

このたび、第28回群馬県作業療法学会の学会長を務めさせていただきます、群馬パース大学の吉岡和哉です。

本学会は、2026年9月27日（日）に群馬パース大学にて開催いたします。平素より群馬県作業療法学会ならびに群馬県作業療法士会の活動にご理解とご支援を賜っております皆様に、心より御礼申し上げます。また、本学会の開催に向け、すでに多くの関係者の皆様から温かなご協力を頂戴しておりますことに、重ねて深く感謝申し上げます。

本学会のテーマは、「架け橋―みんなのせいかつと参加をつなごう―」といたしました。「架け橋」という言葉には、作業療法士としての関わりという意味を込めています。私たちが一方的に橋を渡すのではなく、本人、家族、教育・福祉・医療の関係者、そして地域が同じ方向を見ながら、その地域や人、時代に合わせて橋を調整していく。そのような思いを込めました。

日々の実践では、うまくいった関わりもあれば、迷いながら積み重ねてきた経験や試行錯誤もあります。私たちが向き合う「せいかつ」は、人それぞれに違いがあり、その人が過ごす場所や、周りの人との関わりの中でつくられていきます。また「参加」とは、ただその場にいることだけではなく、「自分の役割がある」「やってみてよかった」という手応えを感じながら、自分らしく関われていることも含むと考えております。しかし現場では、対象となる方の頑張りだけでは越えられない壁に出会うこともあります。

だからこそ本学会では、「できる・できない」を本人の課題だけにせず、環境を整えたり、人とのつながりをつくったりしながら、参加につながる道を一緒に考えていきたいと思います。そして、それらを言葉にして共有し、研究の成果として示していくことは、次の作業療法につながり、現場の力になるはずです。本学会が、実践と研究の両方をつなぐ場となり、明日からの作業療法に役立つ機会となることを願っております。

現在、プログラムの準備を進めております。講演や演題発表、交流会の企画等を通して、それぞれの現場が「つながる」ことを目指してまいります。情報は整い次第、本学会ホームページやSNSにて順次ご案内いたしますので、ご確認いただけますと幸いです。

結びに、本学会が参加者の皆様一人ひとりを大切にし、互いの実践を照らし合いながら、新たなつながりと次の一歩を生み出す場となりますことを心より祈念し、開催のご挨拶といたします。皆様のご参加を、心よりお待ち申し上げます。

あなたの架け橋、どんな風に使ってますか？みんなでシェアできると嬉しいです！

特集1　新任理事紹介

本島総合病院　池田史恵

この度、理事に就任いたしました池田です。太田市の本島総合病院に勤務しております。身体・高齢者領域を中心に臨床を経験してきましたが、10数年前より外来で発達領域に携わるようになりました。現在は管理職を務めながら、外来での発達領域の対象者への関わりを軸に日々臨床にも取り組んでいます。

今年から理事の仕事に携わり、改めて知ったことがあります。それは、作業療法士が社会でより活躍できるよう、協会や県士会が想像以上に多岐にわたる取り組みを行っているということです。この活動は「広い視野」を持つ重要性を教えてくれました。ここで得られる経験は、今後のOTとしての仕事にも必ず活かせると感じています。

より多くの皆様に県士会の活動を身近に感じ、参加していただけるよう、精一杯取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

篠塚病院　設楽俊史

篠塚病院の設楽俊史と申します。これまで約14年にわたり、県士会福利厚生部の部長を務めてまいりましたが、新理事として拝命いたしました。

作業療法士として21年目を迎え、回復期、介護老人保健施設、外来リハビリテーションなどさまざまな分野を経験し、現在は藤岡市の篠塚病院に勤務しております。入院や外来でのリハビリを通じて日々患者様と向き合うとともに、当院が担う認知症疾患医療センターの役割のもと、認知症初期集中支援チームの一員としても携わり、患者様の地域生活も支えています。

私自身は“豆腐メンタル”の持ち主で、頼りない一面もあるかと思いますが、会員の皆様同士のつながりをより一層強め、群馬県にて作業療法士として安心して働きやすい環境づくりに努めていきたいと強く考えています。皆様のお力添えを賜りながら、より良い県士会づくりにつなげていければ幸いです。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

Coffee House Sheep店主
地域共生ボランティア御羊間会長
中嶋有亮

この度、理事に就任いたしました中嶋です。私は現在、自ら喫茶店を営みつつ、商店街組合や自治会役員など、医療・福祉の枠にとらわれない地域活動を展開しています。現場で直面するのは、効率を優先する社会の論理と、個人の尊厳とのジレンマです。しかし、作業を分析し、環境とのマッチングを最適化する私たちの視点こそが、企業の生産性と多様な生き方を両立させる「鍵」になると確信しております。

今、私たちに求められているのは、専門性を社会の言葉に翻訳し、実装していく力ではないでしょうか。就労支援をはじめ発達支援、地域高齢者、障害者施策など、あらゆる場面でOTの価値が正当に評価される未来を目指したい。自身の店舗経営で得た「経営と支援の両立」というリアルな視点を県士会運営に注入し、会員の皆様がより広いフィールドで自信を持って活動できる土壌づくりに貢献してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

群馬医療福祉大学　桝井明子

このたび、群馬県作業療法士会の理事を務めさせていただくことになりました柳井明子です。このような機会をいただき、大変ありがたく感じております。私は、発達支援推進グループにて研修会の企画などをはじめとする活動に関わらせていただくとともに、県士会を楽しくする部である多世代サポートの活動にも取り組んでまいります。

約6年前に長野県から移住した当初は、知り合いもおりませんでしたが、県士会の活動を通して多くの方と出会い、つながりが広がったことを大変ありがたく感じております。これまでの経験を活かし、多世代の会員の皆さまが気軽に参加できる企画を通して、学び合いと交流の機会を広げ、「参加してよかった」と思っていただける場づくりに貢献できればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

特集2

地域とつながるということ
～渋川つながるフェスティバルに参加してきました～

精神科領域推進グループ　株式会社そしゃる　米原浩貴

地域包括推進グループが今年度から新たな取り組みとして、作業療法士という仕事を多くの方に知ってもらい、少しでも地域への参加を推進するために広報活動を行っています。その一環として、地域包括推進グループが6月に前橋市内で「風街夕やけマルシェ」へ参加をしていました。私も同じ地域作業療法推進部として、地域への参加をどのように取り組んでいけばよいのか、悩んでいる中、このような活動を知りました。

今回、渋川市社会福祉協議会主催「つながるフェスティバル」へ参加の打診をいただき、作業療法士会として参加をしました。「つながるフェスティバル」では、「人と人」「人と社会」のつながりを作り出すことを目的に毎年開催されています。当日のイベントでは、全体の来場者数が5000名を超えており、協力団体も200団体参加していました。参加の打診をいただいた中で、地域の方々や他団体とつながるチャンスはない!と思い、地域作業療法推進部の各グループへ相談させて頂き、協力者を募りました。

当日は、地域作業療法推進部の地域包括推進グループ、認知症支援推進グループ、精神科領域推進グループ、群馬医療福祉大学学生ボランティアにご協力いただき、合計１１名で運営を行いました。

その中で、作業療法士会ブースとして「握力測定」「大きな木の製作」「絵はがき・しおり作り」「ノベルティグッズ配布」を来場者へ提供してきました。ブース来場者数は300名を超えており、「握力測定」では、子どもから高齢者まで多世代にわたり、参加して頂き、叫びながら測定を行う参加者もいて大変盛り上がっていました。また、「絵はがき・しおり作り」では、シールやスタンプを活用し、オリジナルの作品を作成しました。参加して頂いたお子さんが集中しながら、取り組む様子も見られ、完成した作品を家族やスタッフに見せながら満足した様子も見ることができました。また、イベントの目的でもある、来場者とつながる、他団体とつながるということもでき、様々な出会いや体験をさせていただくことができました。

参加したスタッフ達も楽しみながら、参加することができ、その中でも作業療法士の広報もさせていただきました。作業療法士の認知度がそれほど高くはないと思っていましたが、名前は知っていると答えてくれた来場者も多くいらっしゃった一方、具体的な内容はわからないという声も多く聞かれました。今後は作業療法士としての専門性を伝えるとともに、「作業療法士会いつも楽しそうに活動しているな」「ちょっと声かけてみようかな」と身近な存在として思ってもらえるように私達自身も楽しみながら地域とつながりを築けるようにしていくことが必要だと感じました。

今回イベント参加を通して、収穫と課題がそれぞれあったので、今後もイベントなどへ参加し楽しみながら作業療法士会の活動に取り組んでいきたいと思います。

興味のある方は、ぜひ一緒に取り組んでいきましょう!

特集3　認知症支援推進グループより

精神科領域推進グループ　株式会社そしゃる　米原浩貴

「士会における認知症への取り組みを推進する担当者同士の情報交換会」に参加して

認知症支援推進グループ　笹谷朋弘

令和8年1月30日zoomオンライン上にて表記の交換会に参加してきました。毎年この時期に開催される協会主催の交換会で毎年参加させて頂いています。

交換会は2部性になっており1部では「意思決定支援ガイドラインに沿った聞き方」について「各士会、個人の取り組み紹介」の情報発信になりました。個人の取り組み紹介では、認知症の方当事者の声を中心とした様々な取り組み紹介を拝聴させて頂きました。

認知症基本法が制定され、より本人の言葉を尊重し周囲も理解していこう。というような流れや声が最近では肌感で多くなってきているなと思いました。そんな中、本人の気持ちや意向を汲み取りそれをわかりやすく協力者へ伝え、実現できる様に組み立てることが作業療法士は上手であると思います。今回の取り組み紹介から、まるで黒子の様に活躍している事例紹介が印象的でした。

第Ⅱ部ではグループディスカッションとなり、各士会の現状報告や課題・具体的なアクションプランについて話会いました。

「人員不足」や「士会としてどこまですればいいのか」など、どの士会も同じような悩みや疑問を持っており、お話しを聞いてとても励みになった情報交換会でした。

「令和7年度　第2回目認知症ケア資質向上のための研修会」運営を終えて

認知症支援推進グループ　笹谷朋弘

令和8年2月7日㈯高崎市総合福祉センターで認知症支援推進グループ主催「令和7年度第2回認知症ケア資質向上のための研修会」を実施させて頂きました。

今回の研修会は、当部(認知症支援推進グループ)の実施事業での一つで、「研修事業」と「認知症の人と家族の会との連携事業」を軸に主に毎年実施しています。

参加された方は作業療法士はじめ介護支援専門員や介護士など、認知症ケアに関わる様々な職種の方々が参加されていました。

講義1の小池岳大先生(平成日高クリニック)では国の情勢からセラピストに求められていること等、俯瞰的な視座から実際の訪問リハの現場までご講義頂きました。講義2の野中和英(認知症疾患医療センター)では多くの事例を通して認知症疾患医療センターの役割についてお話頂きました。講義3の堀口布美子先生(老年病研究所センター)は、認知症の基礎的部分を踏まえながら、院内での実際のリハビリテーションについてお話し頂きました。

参加者のアンケートからは、認知症の方へのリハビリテーションについての視点の新鮮さや関わる上での気づき等のご感想や、今後のケアに活かしていきたいと前向きなご意見が多く寄せられていました。

今後も微力ながら認知症の方へ関わる方々へ、活かせる研修会等が企画出来ればと思います。

2025年度第5回　理事会：議事録

日　時：2026年1月22日(木)19:00～20:20
会　場：群馬医療福祉大学本町キャンパスにて対面開催
参加者：池田、石森、今村、小此木、勝野、木村、小林、設楽、柴田、都丸、中嶋、山浦、山口、吉岡、李(50音)
進行：山口副会

【各部報告・審議事項】

1. 山口副会長

本日会長、事務局長欠席のため、進行を行う。会長への審議等のメールがあれば、副会長へ報告することとする。

2. 教育部

[担当：勝野・今村／報告者：教育部部長　今井卓也]

【報告事項】

メールで随時審議を実施。
1/15にリモート会議を実施。
1)令和7年度 現職者共通研修・選択研修・基礎ポイント研修
①現職者共通研修
現職者共通研修　「事例報告と事例研究」
現職者共通研修　「保健・医療・福祉と地域支援」
日時：令和7年11月19日　　講師：山口部長
上記内容で研修会を開催した。研修会運営では特に大きなトラブルはなし。
現職者共通研修　「実践のための作業療法研究」
日時：令和7年12月10日　　講師：近藤部長
上記内容で研修会を開催した。研修会運営では特に大きなトラブルはなし。
現職者共通研修　「作業療法の可能性」
日時：令和8年1月14日　　講師：山口副会長
上記内容で研修会を開催した。研修会運営では特に大きなトラブルはなし。
現職者共通研修　「日本と世界の作業療法の動向」
日時：令和8年2月25日　　講師：新井会長
上記内容で研修会準備を進めている。
現職者共通研修　「職業倫理」
日時：令和8年3月4日　　講師：長谷川事務局長
上記内容で研修会準備を進めている。
②現職者選択研修
現職者選択研修　「発達障害領域」
日時：令和7年11月23日
開催方法：オンライン研修
講師：吉岡理事、信澤先生（前橋市）、北爪先生(anomira)、十枝先生(群大)
上記内容で研修会を開催した。研修会運営では特に大きなトラブルはなし。
2)令和8年度 新人症例発表会
日時：令和8年7月19日
会場：群馬医療福祉大学（対面開催）
統括：矢吹OTR（前橋日赤）
各ブロック担当：
北中毛→群馬リハビリテーション病院（大塚OTR）
西毛→公立藤岡総合病院（小林OTR）
東毛→原澤OTR（療育センターきぼう）
上記内容で研修会準備を進めている。
3) その他
①2025年度生涯教育制度推進担当者会議（OT協会主催）について
上記の会議が2026年1月31日～2月1日に対面（東京）で開催される。
群馬県士会からは今井と戸部SG長が参加する。
②2025年度の活動費等振込者について
各ブロック長から部員へ周知する。

【審議事項】

新井会長担当講義について、実施の可否を含めた詳細を確認する。時間的な問題もあり教育部と山口副会長で協議していく。

3. 県士会を楽しくする部[担当：勝野・中嶋、柳井、池田]

【報告事項】

1）多世代企画サポートグループ
①県士会の公式Instagramについて（中嶋理事）
フォロワーは230（R8.1.14時点、11月は164）。外部リンクへのタップ数が2回と少ない。学術部によるおすすめ論文の投稿も実施している。引き続き、広報部と連携を進める為の情報収集とまとめを行う。
子育て世代より前の若手をターゲットにした投稿や、活動報告を増やしていく。部員募集の投稿を考えている為、引き続き他部署関係者と連絡を取っていく。
②西毛の主任者会議について（池田理事）
西毛ブロックの主任者会議に池田理事が出席。働きやすい職場環境作りの工夫や県士会活動への参加促進について説明をした。以下のようなご意見を頂いた。
・管理職向けの研修や情報交換会があると良い。
・形式は講義形式が良い。
・マネジメントの手法、領域や分野ごとの情報交換会はどうか。
今後は山浦理事と連携しながら進めていく。
来年度は、主な連携先である部（広報部、ブロック長、福利厚生部）と、県士会主催の研修会等へ参加して頂いている会員からフィードバックを頂きながら、部としての事業を進めていく。

【審議事項】

1）各部主催の研修会や学会のアンケートの中に、県士会に対する要望等の事項を追加させて頂きたい。
審議結果：アンケートの方法や共有・まとめる方法につ

いて考慮が必要なこと、具体的な方法は今後各部との調整が必要なことが意見としてあがった。審議については、賛成多数で可決となった。意見に対する調整は今後実施する。

4. 広報部［担当：都丸　部長 土岐］

【報告事項】

1）公益事業グループ（グループ長：中澤）

①12月12日に吉岡理事、都丸、土岐の3名で高崎市教育委員会指導主事臼田様と面会、高崎市内の小中学校へ訪問して作業療法の紹介をさせていただきたい旨のご依頼をさせていただく。その後ご連絡を頂き、各学校の先生方が閲覧できるネットの掲示板に掲載していただき、興味のある学校の先生に窓口（土岐）まで問い合わせて頂く対応をしていただいた。

2）ニュース編集グループ（グループ長：大脇）

①現在、1月号を発行準備中。

※県士会ニュースの一部をInstagramに投稿する場合がある。

②県士会ニュースの表紙の絵を募集中。群馬県に由来するもの（例：だるまなど）でお願いしたい。また、4月号で巻頭言、新理事の紹介等依頼したい。

送付先：藤岡訪問看護リハビリステーション
ニュース編集G長大脇
daxiezongya@gmail.com

3）広報企画グループ（グループ長：金子）

①来年度に作成を検討しているノベルティグッズの情報収集を行う。(別資料1)

ペットボトルオープナーについて見積もり依頼を実施。(別資料2)

ノベルティグッズに関して提案や要望があればいただきたい。（リレーフォーライフで重宝。ウェットシートなど。イベントで風船。）2月中に都丸理事へ連絡する。

【審議事項】

なし

5. オール群馬について［担当：都丸］

【報告事項】

1）2025.12.11群馬県多職種連携推進協議会（オール群馬）ホームページ改修について定例会議が行われた。議題については別紙資料（資料1～3）で報告する。

①群馬県多職種連携推進協議会ホームページ改修について

②多職種連携コミュニティ（専用掲示板）の運用開始について

【審議事項】

1）ホームページ内“多職種連携コミュニティ”へのログイン・編集可能なパスワード情報の共有は理事のみとし、投稿の権限も同様とすることで良いか。

審議結果：運用方法も考慮。共有及び投稿は理事のみとする。賛成多数承認された。今後の運用を注視することとする。

6. 司法領域の作業療法について［担当：小林、都丸］

【報告事項】

1）2027年1月16日、第2回　前橋刑務所OT支援に関する会議を開催。14名参加。

当会と前橋刑務所との協定書、債主登録、今後の支援の流れについて協議した。

2）協定等取り交わし次第、今年度中にトライアルとして支援開始予定。

【審議事項】

1）当会と前橋刑務所との協定書について内容の確認をお願いしたい。（添付資料）

審議結果：賛成多数承認された。

2）個人情報保護について、協定では当会の責任も関係するため、当会員支援者間での情報共有を下記の方法で予定しているが、当会として問題がないか審議をお願いしたい。

案）対象者、前橋刑務所担当者へ支援内容の連続性と内容の共有を図るため、クラウドサービス（Googleドライブを予定）を使用する。また、日々の連絡（日程調整など）はグループLINEを使用する。

審議結果：賛成多数で承認された。

7. 学術部［担当：李・吉岡　部長：近藤］

【報告事項】

1）学術研究グループ（佐藤グループ長）

①12月17日に、学術活動支援企画・第5回定期勉強会を開催した。

2）学会支援グループ（秋山グループ長）

①12月12日に次年度の学会開催に向けた引き継ぎ会を開催した。

3）機関誌編集グループ（柳井グループ長）

①来年度の機関紙「ぐんま作業療法研究」の論文募集案内をホームページに掲載し、県士会員に対してメーリングリストを通じて周知を行った。

【審議事項】

なし

8. 運転と作業療法特設委員会［担当：李］

【報告事項】

1）12月7日にオンラインにて行われる、「運転と地域移動支援に関する全国協力者会議」へ参加した.

2）上記協力者会議にて用いられた群馬県内の自動車運転支援に関するデータを群馬大学大学院医学系研究科, 脳神経外科分野へ提供した.

【審議事項】

なし

9. 福祉用具委員会［担当：石森］

【報告事項】

1）福祉用具相談支援システムおよび生活行為工夫情報事業の県士会員登録状況

令和8年1月19日時点において、福祉用具相談支援シ

ステムの登録者数は78件、相談件数は5件。生活行為工夫情報事業は3件であった。
2）日本作業療法士協会生活環境支援室における会議への参加について
令和8年1月14日日本作業療法士協会生活環境支援室における会議に石森と一場が参加した。会議では、アンケート調査結果について報告があった（添付資料）。
【審議事項】
なし

10. 養成校連絡協議会［担当：高坂、小林、木村］
【報告事項】
1）11/30県学会にて学生交流会の開催（31名）。
学生ボランティアの参加（各養成校6名：計30名）
2）第3回養成校連絡協議会開催予定（2月下旬～3月上旬）
3）2026年度臨床実習指導者講習会日程案（2026.9.12土～9.13日）
（全国リハビリテーション学校協会：2026.11.14～11.15）
【審議事項】
なし

11. 地域局［担当：柴田・今村・小此木・山浦］
【報告事項】
1）各所報告
①北中毛ブロック
・地域包括フェスティバル11/22開催。振り返り会議 2月上旬に開催予定
・協会からのアンケート協力
・主任者会議　11/27
②東毛ブロック
・桐生市新里 ウォーキング講師 3月にも今村参加。
・協会からのアンケート協力
・次々年度学会　学会長選定に関して年度内決定に向けて活動。
③北中毛ブロック
2次医療圏担当　渋川地区担当　上之原病院
米原様に決定。
木村理事　地域リハビリテーション推進協議会に参加予定
主任者会議　2/25　開催予定
④全体
主任者会議に関して、地域作業療法推進部と連携会議行い、主任者会議の参加率向上のために、推進部の情報提供などの重要性を提示できるように進めていく。（継続審議）
学会と抱き合わせや統一開催も含め、参加者を募集できるように進めていく。
【審議事項】
なし

12. 福利厚生部［担当：小此木, 設楽　部長 小田］
【報告事項】
1）1月24日14：30より、資産形成の研修会「～療法士のための資産形成～心の底から得たい未来を創造する『魂のライフプランニング』」開催予定。参加者：11（17）名予定　うち1（2）名非会員参加予定。（当日参加も可、ぜひ参加してほしい）
2）群馬県作業療法学会において、
優秀演題賞を表彰。当日、受賞者不在のため、郵送にて対応した。
3）優秀学生賞
各養成校と連携し、優秀学生賞の受賞について、進めている。
【審議事項】
なし

13. 地域作業療法推進部［担当：高坂、吉岡］
【報告事項】
1）地域包括ケア推進グループ（山口グループ長）
①12月18日（木）第8回地域グループ定例会議を開催した。
②11月18日（火）にBブロック会議が行われ、高坂理事、山口が参加した。
③12月22日（月）地域局との合同会議を実施し、当グループからは高坂理事、山口の2名が参加した。
④2月28日（土）介護予防に資する人材育成研修「地域リハ最前線」（令和7年度群馬県医療介護総合確保基金使用）を予定している。
2）認知症支援推進グループ（笹谷グループ長）
①12月10日　第6回グループ会議を開催した。
②11月23日（日）・12月21日（日）　家族の会のつどい、笹谷が参加した。
3）精神科領域推進グループ（米原グループ長）
①12月10日（水）　第4回グループ会議を開催した。
②2月4日（水）お悩み相談会・交流会を予定している。
③研修会「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムで活躍できる作業療法士・支援者になるには～病院に対する期待、当事者家族による体験談～」を開催した。
日時：1月10日（土）　13時から15時
形式：ハイブリッド（対面、オンライン）
会場：群馬パース大学
講師：吉邑玲子様　（群馬県精神障害者家族会連合会つつじ会会長）、田口高雄様（リカバリーカレッジあんなか）
参加者：61名（対面12名、オンライン49名）
4）発達支援推進グループ（吉岡理事）
①「地域の子ども支援をつなぐOTの視点を学ぶ会―日々、若手が臨床で抱えるお悩み相談―」を開催した。
日時：12月14日(日)
参加者：11名（県士会員10名, 学生1名）

②1月10日（土）　第2回関東小児OT交流会（幹事士会）に参加した。
参加者：第1部25名（群馬県士会6名、栃木県士会5名、東京都士会4名、千葉県士会4名、茨城県士会1名、OT協会1名、県内学生4名）
第2部17名
③1月21日（水）19：30から　全体会議を開催予定である。※次年度計画について
④12月19日（金）「特別支援学校センター的機能強化事業　外部専門家配置事業」群馬県教育委員会特別支援教育課に吉岡氏、六本木氏で訪問した。
⑤1月25日（日）「読み書きのつまずきにどう向き合うか-書字困難へのアプローチ」を開催予定である。
参加申込：51名（1/16まで）発達G部員13名、Peatixからの申し込み38名
⑥3月10日（火）　2025年度　外部専門家派遣事業報告会を開催予定である。

【審議事項】

なし

14. 事務局［担当：長谷川・石森］

【報告事項】

なし

【審議事項】

1）定款30条に定める第一副会長、第二副会長を任命したい。

審議結果：理事会案としては、第一副会長は長谷川事務局長。第二副会長は山口副会長。会長と事務局長が不在であり、決は取らず両氏に報告・確認する。

2）日本作業療法士協会より厚生労働大臣賞受賞推薦がないか問い合わせが来ている。推薦者を出すか否かを審議したい。

審議結果：要項を理事に回覧する。推薦者の有無がある方は、2月上旬までに推薦する。推薦者がいた場合、メール審議にて可否を判断する。2月下旬までに協会に申請する。

3）3月6日に行われる、群馬パース大学卒業証書・学位記授与式臨席の依頼がきている。参加可否を含め、出席者を審議したい。

審議結果：柴田・勝野副会長が（締め切りまでに）審議する。審議結果を事務局まで返　信する（2/6までに）。

4）群馬県地域リハビリテーション協議会の委員を任命したい。

審議結果：理事会としては都丸理事を推薦する。山口副会長から新井会長に報告する。

5）群馬県介護支援専門員協会研修の後援について
群馬県会議支援専門員協会研修の後援について群馬県作業療法士会に依頼があった。承諾するか否かを審議したい。

審議結果：後援することで決定した。

6）厚生労働省が推進する「介護現場における生産性向上」に関する取組について
日本作業療法士協会より、厚生労働省が推進する「介護現場における生産性向上」に関する取組についての説明会を開催するので、各都道府県から参加者を募る連絡がきている。参加者を決定したい。

審議結果：石森理事が参加することとなった。

15. 財務部［担当：髙橋・小林］

【報告事項】

1）会費未納者について12月中に通知を行い、納付されない場合は退会処理とする。
（～2024年度未納、1月中。2025年度未納、3月中）
未納者人数は最終確認後に理事会内で報告する。

2）協会退会者についても通知を行い、再入会が確認できない場合（2026.3）はGAOT退会処理とする。

3）マイナンバーの提出依頼について
次年度以降の改善点（方法・周知）

4）2025年活動費等、集計と提出の依頼

【審議事項】

なし

16. 第27回群馬県作業療法学会［担当：木村］

【報告事項】

1）今学会の参加者数はのべ210名。（内訳：座長・講師・発表者21名、非会員3名、他職種・一般・学生49名、他県士会員7名、県士会員130名）

2）12月12日に第28回群馬県作業療法学会の役員と引継ぎ会を行った。

【審議事項】

なし

17.MTDLP推進委員会［担当：池田］

【報告事項】

1）事例検討会をオンライン形式で実施予定。
第1回　2026年1月30日(金) 19：00～20：40（発表者2名）
第2回　2026年2月20日(金)　19：00～20：40（発表者2名）
参加者の募集を開始する。

【審議事項】

なし

18.災害対応委員会［担当：設楽］

【報告事項】

1）県学会にて、能登半島地震の対応についてのポスター展示を行った。

2）県士会員に向けて、「災害に対する作業療法士の備え調査」を行った。

【審議事項】

なし

19.第28回群馬県作業療法学会［担当：吉岡、山浦］

【報告事項】

1）テーマ、日時、場所について
テーマ：架け橋 ―みんなのせいかつと参加をつなごう―
日　時：2026年9月27日（日）10時～17時
場　所：群馬パース大学（仮）、（ビエント高崎※駐車場の条件により）
2）12月12日に学会引継ぎ会、12月15日に学会役員中枢部と学会支援グループにてキックオフ会議を行った。
3）現在、学会講演等の講師選定を行っている。また実行委員も並行して募集を行っている（1/22現在16施設33名から申込）。
4）学会支援グループにより、学会HPの立ち上げを行っていただいた。
5）演題募集が今月末頃から開始予定。
6）学会に関するSNS（インスタ, フェイスブック, X）運用は検討中。
今あるアカウントを整理して運用する（吉岡理事）

【審議事項】
1）他職種（介護福祉士）より学会実行委員への参加に興味があるとの話を頂いている。
①他職種が県学会の実行委員として協力していただくことの可否について
②実行委員として協力していただく場合の、日当の支給を含む報酬の可否について
審議結果：参加希望はありがたいが、規定外であり、県士会員がいであると保険の対象外であり不安もある。ボランティアやワークショップ講師等をお引き受けいただければ、謝金をお支払いできる。
興味を持っている方をまずは引き受けて、実行委員として氏名を残していただくことも必要ではないか。
今後は、非会員や当事者にも協力を仰ぐことも必要になるのではないか。
学会内で適宜、調整、検討し、継続審議とする。

20.その他
なし

次回理事会予定と開催形式
3月19日(木)19:00～　WEBで実施する。

2025年度第6回　理事会：議事録

開催日時： 2026年3月19日(木)19:00～
開催場所：WEB
出席者：新井、池田、今村、小此木、勝野、木村、小林、設楽、柴田、都丸、中嶋、長谷川、山浦、山口、吉岡、李（50音）

【各部報告・審議事項】
1.新井会長
特になし

2. 教育部
［担当：勝野・今村／報告者：教育部部長　今井卓也］
【報告事項】
メールで随時審議を実施。
3/12にリモート会議を実施。
1)令和7年度 現職者共通研修・選択研修・基礎ポイント研修
①現職者共通研修
現職者共通研修　「日本と世界の作業療法の動向」
日時：令和8年2月25日　　講師：新井会長
上記内容で研修会を開催した。研修会運営では大きなトラブルなし。
現職者共通研修　「職業倫理」
日時：令和8年3月4日　　講師：長谷川事務局長
上記内容で研修会を開催した。研修会運営では大きなトラブルなし。
2) 令和8年度 新人症例発表会
日時：令和8年7月19日
会場：群馬医療福祉大学（対面開催）
統括：矢吹OTR（前橋日赤）
各ブロック担当：北中毛→群馬リハビリテーション病院（大塚OTR）　西毛→公立藤岡総合病院（小林OTR）
東毛→原澤OTR（療育センターきぼう）
上記内容で研修会準備を進めている。
3) その他
①県士会裁量ポイントについて
粕川研修企画G長が戸部SG長へ教育部の名簿を提出する。
②令和8年度の体制について
各ブロック長は4月末までに部員の入退部の状況を確認する。
③令和8年度の研修会について
現職者共通研修8コマ、現職者選択研修(身障)、基礎ポイント研修2コマの企画を予定する。生涯教育制度の変更にともない、現職者共通・選択研修の開催は来年度が最後の年となる。
現職者共通研修の講師は、引き続き今年度の講師の先生に依頼する。
現職者選択研修の講師は、今井が人選する。
④令和8年度の備品購入について

現在、生涯教育グループのPCはOT協会からリースされているPCを使用中。

来年度以降もリースが継続できるか未定のため、生涯教育グループ用にPCの購入を検討する。

【審議事項】

なし

3. 県士会を楽しくする部［担当：勝野・中嶋、柳井、池田］

【報告事項】

1）多世代企画サポートグループ

①県士会の公式Instagramについて

運用中。フォロワー数260人以上を達成。フォロワーの内訳は個人が3割。今後、広報部との連携を強化するため、運用マニュアルと業務依頼書を作成中。子育て世代前の20代・30代の若手をターゲットとし、学生会員含む県士会員の募集を推進する。

②アンケートの実施案について

各部の研修会で県士会員向けのアンケート項目を以下の内容で実施したい。部によっては重複している項目もあるので、アンケート担当者同士で調整していく。

(1)基本情報：所属、経験年数　(2)研修会の認知・動機：知ったきっかけ、参加の決め手 (3)今後のニーズ：希望する企画、参加しやすい条件　(4)県士会への期待：自由記述、希望する情報発信媒体　(5)キャリア・将来：夢や取得したい資格　(6)会員状況：入会状況、継続・入会したいと思える条件　(7)その他：自由意見・感想

【審議事項】

1）会員同士の交流深化および組織基盤の強化を目的として、事務局傘下の「多世代企画サポート室」として体制を整えたい。→承認。

2）年6回の会議費、参加した研修会の活動行動費を事務局予算として申請したい。

→前項に連動して承認。

4. 広報部［担当：都丸　部長 土岐］

【報告事項】

1）公益事業グループ（グループ長：中澤）

① 県士会のノベルティグッズとしてクリアファイルを増刷が完了。各部でのイベント等で配布できるよう管理していく。来年度以降の広報活動について部会を開催し検討予定。

2）ニュース編集グループ（グループ長：大脇）

① 4月号準備中。掲載記事等がある場合には、3月27日までに下記アドレス宛にデータの送付をお願いします。
daxiezongya@gmail.com

3）広報企画グループ（グループ長：金子）

① 公益事業Gと合同で活動実施。各部と情報を共有し必要な外部情報の収集とまとめを行う。

② 来年度に作成を検討しているノベルティの情報収集を行う。

【審議事項】

なし

5. 司法領域の作業療法について［担当：小林、都丸］

【報告事項】

1）2027年1月16日前橋刑務所（会長・都丸理事）

2）2月5日、6日前橋刑務所内にてオンライン研修会

3）3月9日協会主催、情報共有会議

4）協定等取り交わし・報酬決定後、今年度中にトライアルとして支援開始予定。

【審議事項】

なし

6. 学術部［担当：李・吉岡　部長：近藤］

【報告事項】

1）学術研究グループ（佐藤グループ長）

①1月7日に、学術研究グループ来年度の活動に関する会議を実施した。

②2月4日に、学術活動支援企画・第6回定期勉強会を開催した。

2）学会支援グループ（秋山グループ長）

①2月16日に第28回県学会の第一回実行委員会が開催された。今後のスケジュールや実行委員間での役割分担について情報共有された。2月26日、学会支援グループから会計担当者への業務の説明会が行われた。

3）機関誌編集グループ（柳井グループ長）

①2月末に来年度の機関紙「ぐんま作業療法研究」の論文募集を締め切り、計4編の論文が投稿された。現在、査読を進めている。

【審議事項】

なし

7. 運転と作業療法特設委員会［担当：李］

【報告事項】

なし

【審議事項】

なし

8. 福祉用具委員会［担当：石森］

【報告事項】

1）福祉用具相談支援システムおよび生活行為工夫情報事業の県士会員登録状況

令和8年3月16日時点において、福祉用具相談支援システムの登録者数は79件、相談件数は5件。生活行為工夫情報事業は3件であった。

2）日本作業療法士協会生活環境支援室における会議への参加について

令和8年2月14日日本作業療法士協会生活環境支援室における会議に石森が参加した。

3）介護現場における生産性向上に関する周知および説明会への参加について

令和8年2月3日日本作業療法士協会による、介護現場における生産性向上に関する周知および説明会に石森が参加した。厚生労働省の方で、介護現場の生産性向上（介護福祉士を働きやすくする、人材確保etc）を目的に、「生産性向上に関連した介護テクノロジーを活用した人材確保および環境改善の取組事業」として、「介護生産性向上センター」を各都道府県に数年前より設置し始めており、群馬県では、「介護職場サポートセンターぐんま」として設置された。今後、「介護職場サポートセンターぐんま」より群馬県作業療法士会に連携の話がくる予定。

【審議事項】

なし

9. 養成校連絡協議会［担当：高坂、小林、木村］

【報告事項】

1）第3回養成校連絡協議会会議を実施した。

①活動報告、決算、事業計画、予算について検討した。

②次年度も学生事業アンケート継続。調査結果のフィードバックは検討継続する。

③新年度学生会員の募集や管理について確認

④学生交流会の実施検討

⑤2026年度臨床実習指導者講習会開催予定9/12・13（前橋医療福祉専門学校）

【審議事項】

なし

10. 地域局［担当：柴田・今村・小此木・山浦］

【報告事項】

1）各所報告

①北中毛ブロック

・前橋市地域リハビリテーション推進協議会に小此木が参加した。

・2月25日に北中毛ブロック支部会議を行った。

②東毛ブロック

・3月26日に桐生包括支援センターからの依頼で今村が講師として対応

・太田市宝泉地区からの講師依頼あり、飯野OTRが対応予定。

③西毛ブロック

・2月9日に地域包括ケアフェスティバル振り返り会議に山浦が参加した。

・2月16日に第1回学会実行委員会議を実施した。

④全体

・3月16日、地域局会議にて次年度の事業計画について検討した。

【審議事項】

なし

11. 福利厚生部［担当：小此木, 設楽　部長　小田］

【報告事項】

1）優秀学生賞

各養成校と連携し、4校の養成校に対して優秀学生賞表彰を行った。（3/24群馬大学卒業式にて実施予定）

2）団体傷害保険の案内を再度、県士会ニュースで行っていく。

【審議事項】

なし

12. 地域作業療法推進部［担当：高坂、吉岡］

【報告事項】

1）地域包括ケア推進グループ（山口グループ長）

①2月19日（木）第10回グループ会議を開催した。

②2月15日（日）第3回地域支援事業会議が実施されグループ員1名が参加した。

③3月1日（日）たちばな支援の会主催「憩いの広場」のイベントが開催され、グループ員2名が参加した。

④3月10日（火）Bブロック会議が開催され、グループ員2名が参加した。

⑤以下の通り、人材育成研修会「地域リハ最前線」を開催した。

日時：2月28日（土）　9時20分～12時30分

形式：対面

会場：群馬医療福祉大学

講師：山口 智晴 氏（群馬医療福祉大学）

参加者：34名

2）認知症支援推進グループ（笹谷グループ長）

①以下の通り、第2回　認知症ケア資質向上のための研修会を開催した

日時：2月7日（土）12時50分～16時35分

形式：対面

会場：高崎市総合福祉センター

講師：小池 岳大 氏（平成日高クリニック）

野中 和英 氏（老年病研究所附属病院 認知症疾患医療センター）

堀口 布美子 氏（老年病研究所附属病院）

参加者：42名

3）精神科領域推進グループ（米原グループ長）

①2月18日（水）第5回グループ会議を開催した。

②3月1日（日）北橘助け合い協議体たちばな支援の会「第4回憩いの広場」にて、地域住民対象に体力測定、健康いきいき体操を行った。グループ員より5名が運営に参加した。

③以下の通り、「お悩み相談会・交流会」を開催した。

日時：2月4日（水）19～20時

形式：オンライン

話題提供者：岸　祥穂 氏（上之原病院）

参加者：15名

4）発達支援推進グループ（吉岡理事）

①1月10日（土）第2回関東小児OT交流会（幹事士会）が開催された。

参加者　第1部25名：群馬県士会6名、栃木県士会5名、東京都士会4名、千葉県士会4名、茨城県士会1

名、OT協会1名、県内学生4名
第2部17名
②2月19日（木）次年度予算立案会議を開催した。
参加者　吉岡理事、中嶋、矢吹、吉澤、田口、萩原、六本木、金澤、米原
③3月9日（月）幹部会議を開催した。
参加者　中嶋, 吉澤, 六本木
④3月10日（火）2025年度 外部専門家派遣事業報告会を開催した。
参加者　40名：県士会員15名、他都道府県会員15名、学生1名、教諭5名、理学療法士2名、心理士1名、未入会OT1名
【審議事項】
①地域包括ケア推進グループ
1) 今年度同様、来年度も前橋市広域支援センターの自立支援型地域ケア個別会議の見学募集をHPにて行わせていただきたい。日程等が決まり次第、後日詳細を提示する。
審議結果：承認。
2) 精神科作業療法推進グループの事業として、県内精神科を中心とした施設紹介を運営しているSNS（Instagram）で実施したい。依頼書（施設長宛）参照。
審議結果：名義は会長とグループ担当理事連名とすることで承認された。

13. 事務局［担当：長谷川・石森］
【報告事項】
1）協会長ー士会長会議
別紙資料にて報告。
2）事務員の退職と新入職に関して
事務員加藤氏が3月末で退職。4月から、渡部早香（わたべさやか）氏が入職予定。
3）法人登記について
法人登記について完了したとの報告あり。
【審議事項】
1）総会日程・会場について
候補日：6月28日（日）
会場：美原記念病院　てんぼくホール
＊日程については総会資料の作成の関係で6月最終週として提案。
→上記日程で承認。
＊開始時間については午前開催又は午後開催どちらが良いか
→午前中開催の希望が多数で午前中開催で承認。
2）40周年記念事業実施方法の見直しについて
より多く士会員に共有できるよう、会場開催の方法を見直すことを検討する。
→開催方法については賛成多数で承認。新井会長より、表彰については場所の選定を行い、関係各所へ連絡をしていく必要があるとの意見が上がった。委員会で再度検討していく。

14. 財務部［担当：高橋・小林］
【報告事項】
1）来年度予算案について
2）決算・出納帳・支払について
4月5日（日）までにご提出お願いします。
3）その他
日本作業療法士協会非会員となっている群馬県作業療法士会員へ日本作業療法士協会に再入会するよう促していく。
【審議事項】
なし

15.MTDLP推進委員会［担当：池田］
【報告事項】
1）事例検討会をオンライン形式で実施。
第1回　2026年1月30日(金)
参加者14名（うち発表者2名）
第2回　2026年2月20日(金)
参加者18名（うち発表者2名）
【審議事項】
なし

16.災害対応委員会［担当：設楽］
【報告事項】
1）県士会員に向けて、「災害に対する作業療法士の備え調査」をアンケート集計している。
【審議事項】
なし

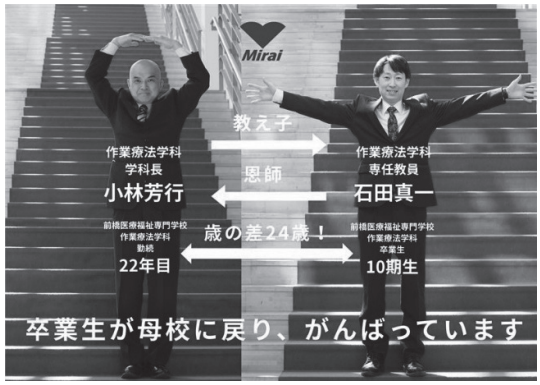
17.第28回群馬県作業療法学会［担当：吉岡、山浦］
【報告事項】
1）学会の参加申し込みにはPeatixを使用予定。
【審議事項】
1）傷害保険について
現在加入している傷害保険は、会員名簿記載者のみ適用される保険となっている。その為、学生や他職種など学会を手伝うボランティアスタッフには適用されない。士会加入の保償と同等の内容で実行委員50名での見積もりでは8,990円で加入が可能とのこと。学生、他職種への保険に加入してよいか伺う。
審議結果：承認。

18.その他
なし

次回理事会予定と開催形式
5月21日(木)19:00～　WEBで実施する。

施設紹介

学校法人未来学園
前橋医療福祉専門学校



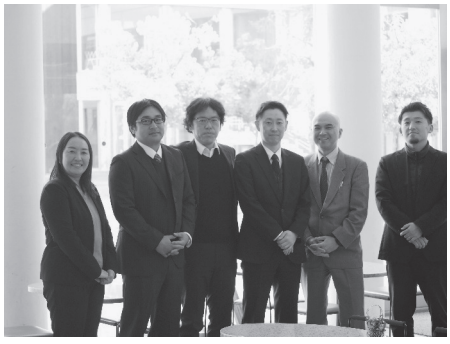
はじめに、昨年の11月30日に行われた第27回群馬県作業療法学会では、大変お世話になりました。この場をお借りして、皆様へ感謝申し上げます。

昨年度に行われた作業療法学会で会場となった前橋医療福祉専門学校ですが、創立以来、初めて公的なイベント会場となったため、本学に初めて足を踏み入れたという方も多かったのではないでしょうか。

本学は1986年に医療秘書学科と歯科衛生学科の2学科からスタートし、2001年に理学療法学科・作業療法学科が設立され、2018年4月から3年制へと移行しました。今年は法人が創立されて40周年。奇しくも、群馬県作業療法士会も同じく40周年。何かしらの縁を勝手に感じております。現在は、前橋医療福祉専門学校には医療秘書学科、介護福祉学科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、日本語学科の6学科、姉妹校の高崎歯科衛生専門学校と京都文化医療専門学校にはそれぞれ歯科衛生学科の1学科があり、数多くの卒業生を輩出しています。さらに、来年度からは「みらいデザイン学科」という、体験学習を通して自らの強みや職業選択への理解を深める学科も新たにスタートすることとなりました。

教育方針は「Learning Together, Thinking Together」を掲げ、教職員一同、医療、保健、福祉の発展のために学生と「共に学び、共に考える」教育を実践しています。

専任教員についてですが、それぞれの学科で卒業生が多く勤務しており、作業療法学科も半数以上が卒業生という、愛校心に溢れた（？）職場となっています。臨床実習や外部講師などでは卒業生だけではなく、卒業生以外の先生方にも多大なご協力をいただいています。



これを書かせてもらっているのは年度末。おそらく掲載してもらう頃には、新年度が始まっているかもしれません。今国家試験に向けて頑張っている3年生は、卒業後の新たな生活をスタートしているのではないかと思います。各職場での先輩方には温かなご指導をお願いいたします。また、進級できた在校生も実習生として順次お世話になるかと思います。併せてご指導をお願いいたします。

最後になりますが、本学の作業療法学科でYouTubeチャンネルを開設しています。『前橋医療福祉専門学校　OTチャンネル』で検索していただき、お時間があればご視聴ください。

2025年群馬県作業療法学会において、優秀演題賞として、群馬県立障害者リハビリテーションセンターの髙橋洋輔氏が選出され表彰されました。

優秀演題賞は、群馬県作業療法学会の学術的意義を高め、群馬県作業療法士会員の臨床業務や研究への意欲の向上、促進することを目的として本学会の口述演題から、特に優秀な演題の筆頭演者に授与されます。

髙橋先生から受賞にあたってコメントを頂きましたのでご紹介します。

群馬県立障害者リハビリテーションセンターの髙橋洋輔と申します。以前、こちらで特集を組んで頂いたことがあり、覚えている方がいらっしゃるかもしれません。

さてこの度、第27回群馬県作業療法学会にて演題「他者と交流を通して変化した希望を作業療法士が共有したことで役割に繋がった高次脳機能障害の事例」が優秀演題賞に選ばれたことをお知らせします。まずは学会関係者の皆様に心より感謝申し上げます。2020年のコロナ（covid-19）禍を除き、当学会にて6年連続で当センターの取り組みや高次脳機能障害支援に関して発表させて頂きましたが、そのご褒美と捉えています。また、拙稿の投稿前、国会で高次脳機能障害者支援法（案）が可決され、当方を元気付けてくれました。

兼ねてより、高次脳機能障害当事者の方やそのご家族の思い、取り巻く多職種の支援をテーマに特集へ取り上げてきましたが、本事例発表は、その過程で考え、実践してきたことの一つの表れとも言え、無事発表へ辿り着けたことにホッとしています。

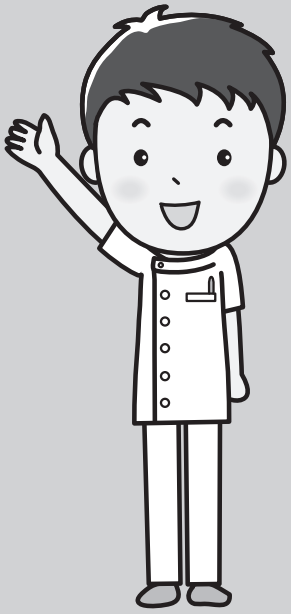
その過程に関する話を一つさせて頂くと、本発表前に、セラピストだけでなく、当センター利用者様とピアサポーターの立場である職員の齋藤氏のご協力も頂きました。特に齋藤氏は先の特集で取り上げた元利用者様の一人で、今回は支援者として新たな立場・視点からご意見を伺いました。程度の大小あれ事例と似た境遇から真摯な意見を頂き、この場を借りて深く御礼申し上げます。

そうした協力を得て今回の受賞にあたり感じるのは、今後、高次脳機能障害の領域でも作業療法士がピアサポーター（当事者）と協業する中でクライエントと協業するような、新たなカタチの模索が必要な時期かもしれないことです。

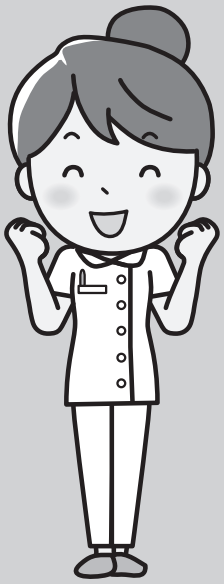
そして、本発表内容もそうだったように、まさにこうした多種多様な人やモノへの取り組み自体が“meaningful occupations（「意義深い」作業）”と改めて実感します。

今後はこうした取り組みを実践的に増やし、学術的にも微力ながら貢献出来たら幸いです。今後とも当センターとの連携、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。取り組みや当センターにご興味ある方はぜひご一報ください。reha-kousei@gswc.or.jp（髙橋洋輔）

投稿大募集!!



ニュースでは、日頃感じている些細な疑問や
日常業務で工夫している点、こんな研修会に
参加した･･･などなど、皆様からの投稿を
募集しております。
どんなことでも構いませんので、
お気軽にお寄せ下さい。
お待ちしております!!



ニュース原稿の送付先

daxiezongya@gmail.com

県士会ホームページアドレス

http://www.gunma-ot.org/

編集後記

記事の依頼にご協力して頂いた先生方につきましては
ご多忙の所ありがとうございました。
表紙のイラスト作品や記事の依頼等、何かあれば下記
アドレスまでご相談･ご連絡お待ちしていますのでよろし
くお願いいたします。
daxiezongya@gmail.com

O

群馬県作業療法士会ニュース

発 行 者 ‖ 新井　健五
発 行 所 ‖ 群馬県作業療法士会事務局　〒371-0024 前橋市紅雲町1丁目7番12号　TEL･FAX 027-224-4649
編集代表 ‖ 大脇 宗雅　編集委員 ‖ 関　仁紀、辻 千鶴子、白倉 研吾　印刷 ‖ 星野印刷株式会社